

事業概要説明書 [1]			事業番号	3-5								
事務事業名	林業振興資金貸付事業	担当部名	農政部									
事業開始年度	昭和 61 年度	担当課名	農林水産課									
実施方法	直営	担当係	森林整備室									
根拠法令等	宮崎市林業振興資金貸付要綱											
事業の概要	目的 〔 何のために 〕	森林組合の経営の安定化と森林整備事業の合理化に必要な資金を貸し付けることにより、地域林業の振興と森林の持つ公益的機能を維持する。										
	対象・手段 〔 誰(何)に対して、何をするのか 〕	<p>○対象: 宮崎中央森林組合</p> <p>○手段: 森林組合の体質強化と森林整備事業の円滑な推進のため、林業振興資金を貸付する。</p> <p>■貸付条件</p> <table border="0"> <tr> <td>貸付の期間</td> <td>毎年4月1日から翌年3月31日まで</td> </tr> <tr> <td>貸付金利率</td> <td>無利子</td> </tr> <tr> <td>償還の方法</td> <td>毎年3月末に一括償還</td> </tr> <tr> <td>連帯保証人</td> <td>理事2名以上</td> </tr> </table>			貸付の期間	毎年4月1日から翌年3月31日まで	貸付金利率	無利子	償還の方法	毎年3月末に一括償還	連帯保証人	理事2名以上
	貸付の期間	毎年4月1日から翌年3月31日まで										
貸付金利率	無利子											
償還の方法	毎年3月末に一括償還											
連帯保証人	理事2名以上											
事業の必要性	<p>・ 建築工法の多様化や輸入木材の増加により、国産材の利用が低調に推移している。</p> <p>それにより、木材価格が低迷し採算性の悪化を招き、森林所有者の高齢化も伴って、森林の荒廃が危惧されている状況である。</p>											
コスト	平成22年度(予算)		人件費									
	直接事業費	25,000 千円	←	職員構成	概算人件費 (平均給与×従事職員数)	従事職員数						
	人件費	225 千円		正規職員	225 千円	0.03 人						
総事業費	25,225 千円	嘱託職員		0 千円	0 人							
平成22年度 直接事業費内訳	<p>林業振興資金貸付金総額 25,000千円</p> <p>(内訳)</p> <table border="0"> <tr> <td>旧宮崎市管内</td> <td>10,000千円</td> </tr> <tr> <td>旧田野町管内</td> <td>5,000千円</td> </tr> <tr> <td>旧高岡町管内</td> <td>5,000千円</td> </tr> <tr> <td>旧清武町管内</td> <td>5,000千円</td> </tr> </table>				旧宮崎市管内	10,000千円	旧田野町管内	5,000千円	旧高岡町管内	5,000千円	旧清武町管内	5,000千円
旧宮崎市管内	10,000千円											
旧田野町管内	5,000千円											
旧高岡町管内	5,000千円											
旧清武町管内	5,000千円											

事業概要説明書 [2]		事業番号	3-5		
年度		平成21年度(決算)	平成22年度(予算)		
直接事業費		31,000 千円	25,000 千円		
財源	一般財源	0 千円	0 千円		
	受益者負担金	0 千円	0 千円		
	その他	31,000 千円	25,000 千円		
成果目標 〔 どういう状態 を目指すのか 〕	<p>森林組合が林業振興資金を効率的に運用することにより、森林所有者の森林整備(伐採、造林、保育等)が円滑に推進されるとともに、森林の持つ公益的機能(国土保全、水源かん養、二酸化炭素吸収等)が健全に維持される。</p>				
成果実績 〔 成果目標の 達成状況等 〕	[状況]	想定した成果を得ている。			
	[説明]	<p>森林組合が森林所有者に代わって数多くの森林整備事業を展開する資金として貸付金を効率的に運用し、森林資源の有効な活用が図られている。</p>			
成果指標 〔 事業の実績 及び目標 〕	指標名	単位	平成20年度 (実績)	平成21年度 (実績)	平成22年度 (目標)
	運用状況	千円	75,376	74,274	60,000

事業の方向性 〔 事業の現状と 課題、今後の あり方等 〕	<p>林業経営は、長期にわたる木材価格の低迷による採算性の悪化と森林所有者の高齢化の進展等により、間伐等の森林施業が遅れ、森林の持つ公益的機能の発揮が低下してきている。このため、効率的な施業を計画的に実施していくためには、実施主体となる森林組合の経営安定が重要であることから林業資金貸付を行い、森林の適正な管理に取り組む。</p>				
特記事項 〔 参考情報等 〕					

林業振興資金貸付事業補助資料

【林業の現状】

本市の総面積は 64,461ha で、そのうち森林面積は 35,113ha であり、総面積の 54.5% を占めています。市の平均気温は約 17℃、平均降水量は約 2800mm であり、比較的温暖多雨な気象条件は樹木の生長に適した環境となっています。

森林から生産される木林は再生産が可能で環境への負担が少ない資源です。平成 3 年以降、宮崎県のスギ素材生産量は日本一を続けており、日本を代表する「林業県」となっています。しかしながら、長引く木材価格の低迷による採算性の悪化と林業担い手の減少や高齢化の進行から、伐採後も植林されない「植栽未済地」や間伐などの手入れが不十分な森林が増加するなど、林業を取り巻く情勢は依然として厳しい状況にあります。

このような中、地域林業の中核的担い手である森林組合の経営を安定させ、計画的かつ効率的な森林施業(伐採、植林、下刈等)が行われ、林業生産活動の振興はもとより、森林の持つ公益的機能が最大限に発揮できるようにすることが求められています。

【森林組合とは】

森林組合は、中小規模の森林所有者を組合員とし、組合員が協同して経済的、社会的地位の向上並びに森林の適正な管理及び森林生産力の増進を図ること目的に、森林組合法に基づいて設立された組織です。宮崎県の森林組合員は約 5 万人で、8 森林組合で構成されていますが、全国の組合員数は 161 万人で、組合数は 846 組合になります。



【宮崎中央森林組合 平成 22 年 3 月現在】

設立年月日	平成 11 年 12 月 1 日
地 域	宮崎市・国富町・綾町・(1 市 2 町)
組 合 員 数	6,568 名
役 員 数	理事 15 名(うち常勤理事 1 名) 監事 3 名
総 代 数	220 名
職 員	参事 1 名 一般 11 名

※主な事業活動の内容 (21 年度実績)

- ・座談会の開催・・・管内 9 地区
- ・植林、下刈、除間伐等の森林整備事業

区 分	件 数	面 積(ha)
植 林	1 4 1	1 0 1
下 刈	5 9 1	5 3 3
除 間 伐	1 7 3	3 1 3

- ・木材搬出のための作業路の築造及び補修・・・築造 約 2,500m 補修 約 2,600m
- ・森林境界の明確化に関する支援事業・・・現地立会、測量、図化 約 100ha
- ・椿山森林公園の管理・・・指定管理者としてH21 年度より 5 年間

【県内各市町村の森林組合への貸付状況 平成 22 年度】

地区名	組 合 名	組合員数 (人)	組合員所有 森林面積(ha)	貸付金額 (千円)	備 考
中 部	宮崎中央森林組合	6,568	17,228	38,000	貸付内訳 (千円) 宮崎市 25,000 国富町 9,000 綾 町 4,000
西臼杵	西臼杵森林組合	5,258	44,727	30,000	
東臼杵	延岡地区森林組合	4,170	58,478	なし	
	耳川広域森林組合	6,244	107,150	240,000	
児 湯	児湯広域森林組合	3,915	37,709	76,000	利子年 1 %
西諸県	西諸地区森林組合	7,411	19,768	なし	
北諸県	都城森林組合	9,448	18,956	50,000	
南那珂	南那珂森林組合	7,023	30,583	70,000	

貸付金の返済は全ての団体が年度内となっています。